

## 1月6日：ポジティブなニュースが投資家心理を改善

ベトナム株式市場は2023年の第一週に上昇、流動性も改善した。ポジティブなニュースが相場のブルトレンドに拍車をかけたと専門家は語る。

年初の上昇は、短期だけでなく中長期の投資家に投資機会を作り、市場が今後上昇するとの希望を高めた。

VNダイレクト証券によると、中国との国際線再開、南北高速鉄道のフェーズ2の開始、社債の私募に関する規制の見直しなどの要因が相場を押し上げた。

VN指数は4.4%上昇し1,051.4ポイントで取引を終えた。ハノイ取引所のHNX指数も2.6%高の210.6ポイント、UpCoM指数も1.5%高の72.7ポイントで取引を終えた。

流動性は改善、先週に比べて9.3%増加し11.7兆ドン（先週平均、3市場合計）となった。外国人投資家は、好調なマクロ経済と割安なバリュエーションから買い越しを続けた。

外国人投資家はホーチミン市場で1.6兆ドンを買い越した。

VN指数は強い抵抗線である1,070ポイントを目指すだろう。

為替市場の落ち着き、金利引き上げの鈍化などのポジティブなニュースはあるが、テト休暇を前にキャッシュフローの劇的な改善には期待できない。

伝統的に、投資家はテト休暇を前に金利負担を減らすため信用取引のポジションを減らす傾向にある。そのため、テト休暇まで勢いが継続するかは疑問である。

短期の投資家は、上昇した際には利益確定し、下落時に備えるべきだと同社はアドバイスした。

長期の投資家は、テト後の資金流入を期待して株を保有できるだろうとも述べた。

一方、サイゴンハノイ証券は、2022年の暮れと2023年の初めに多くのポジティブなサインが出ている。例えば、外国人投資家の買いや大型株、特に銀行株の上昇が挙げられると語った。

VN 指数が上昇トレンドを終えたとしても、下落トレンドに陥るとは考えない。上昇トレンドに戻る前に狭いレンジで上下するだろう。そのため、投資家は短期のポジションで市場に参加できると SHS は語った。

中長期的には、昨年大きく下落しており魅力的なバリュエーションとなっている。

一方、金利の上昇、世界経済の見通しなど今後の困難として挙げられる。

しかし、現在よりも株価水準が割安となれば、中長期の投資家にとっては明らかに魅力的となると同社はコメントした。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。